

日々の田高（産業技術総合研究所（産総研）の見学）

9月23日（火）に理数研究校の活動の一環として、理数校外学習が行われました。生徒12名と教員3名で茨城県つくば市にある産業技術総合研究所（産総研）の特別一般公開日に参加しました。

この校外学習は、バスを貸し切り、世界的な科学技術拠点での研究活動を実際に見ることで、生徒たちの知的好奇心を刺激し、日々の探究活動や今後の進路選択に役立てることを目的としています。

産総研では、模擬店スタイルで各研究ブースが設けられ、最新の科学技術に触れることができました。

生徒たちは研究者の熱意あふれる説明を受け、最先端の技術や研究内容に直接触れる貴重な体験をしました。研究テーマは様々で「リン資源の循環利用」「ミドリムシの生成物から作る生分解プラスチック」「高野豆腐のようなセラミック断熱材」「燃える氷メタンハイドレード」など環境問題に対する最先端のアプローチを知ることができ、探究心を深める良い機会となりました。行き帰りのバスの道中では、生徒それぞれが考えた理数クイズで盛り上がり、楽しい1日を過ごすことができました。



螺旋状の溝を回転させて実現した「人工心臓」



制御された泡を食い入るように見る生徒